

「外国人早期適応研修カリキュラム」研修案

企業名 (担当者名)	LPK ASIA PASIFIK EKONOMI KOOPERASI ()
テーマ (選んだ理由)	第7章「生活する／病気・けが」 ()

目安時間	項目	内容
	◆事前準備物	(何を揃えますか?) 実習生：カリキュラムのインドネシア語翻訳付き教材 講師：日本の国民健康保険や労災保険についての資料
	◆到達目標	(到達目標は何ですか?) ・日本の国民健康保険について理解する ・労災保険について理解する
10分	◆事前課題の確認	(疑問にすぐ答えるのではなく、皆で共有しましょう) ・万が一病気になったり、事故に巻き込まれたりしたとき、どうすればよいか? (勤務中／勤務外) →実習生から意見を聞く
10分	◆ウォーミングアップ	(どんな対話をしますか?) ・万が一病気になったり、事故に巻き込まれたりしたとき、どうすればよいか? (勤務中／勤務外) ・インドネシアと同じかどうか?
40分 (内、小テスト10分)	◆活動内容	(どんなワークをしますか?それはなぜですか?) ・講師：症状によって、どの病院に行くか質問する ・受診の流れを確認する ・119番の仕方を確認する ・事故にあった時の助けの求め方を確認する (どのように行いますか?) 1. 講師：研修用の翻訳付き教材をもとに作成したパワーポイントを用いる 2. テキストの内容に沿って質疑応答をする 講師が補足説明をする 3. 実習生の意見や感想を聞く 4. 実習生に短い感想文を書いてもらう 5. GOOGLEFORM で作成した小テスト(選択形式)に答える

コメントの追加 [0岩成1]: 今まで大きな病気や事故の経験あるか、その時どうしたか、さらに、インドネシアと日本の対応の共通点や違い等を引き出せると良いですね。

<工夫したこと>

ふりかえりとして、インドネシア語対応の小テストを実施する
→説明して終わりではなく、最後に小テストを行い、各実習生の理解度を確認する。